

『視覚障害者向けナビゲーションタグの活用について』

視覚障害者によるホーム転落事故の防止を目的に、駅ホームにおける転落防止対策を検討する「新技術等を活用した駅ホームにおける視覚障害者の安全対策検討会」が令和2年、国土交通省に設置されました。

そこで今回の勉強会では、視覚障害者向けナビゲーションタグの開発・研究を進める3名の関係者をお招きし、現在の開発状況と将来性について、障害当事者・学識者等を交えて議論を行います。

(講師詳細は別紙参照)



配信日 2021年10月11日(月) 10:00~10月29日(金) 17:00

申込方法 電子メール、FAX (参加申込書に必要事項をご記入の上申し込みください)

申込期限 2021年9月27日(月) 17:00まで

視聴方法 お申込頂いた方には、10月8日(金)までに視聴用URLを電子メールでお送りします。

プログラム

開会挨拶	5分	(公財)交通エコロジー・モビリティ財団
導入・課題提起	10分	「視覚障害者ナビゲーションの経緯と歴史」 柳原 崇男氏 近畿大学 工学部 准教授
事例発表①	15分	「視覚障がい者移動支援アプリ shikAI のご紹介」 小西 祐一氏 リンクス株式会社 代表取締役会長
事例発表②	15分	「NaviLensについて」 北山 ともこ氏 NPO法人アイ・コラボレーション神戸 理事
事例発表③	15分	「コード化点字ブロックを用いた音声情報案内システム」 松井 くにお氏 金沢工業大学 工学部情報工学科 教授
デモンストレーション	25分	①ナビゲーションタグ利用シーンの紹介(動画) ②視覚ナビゲーションタグアプリ体験
パネルディスカッション	55分	○コーディネーター:柳原崇男氏(近畿大学 工学部 准教授) ○コメンテーター:三星昭宏氏(近畿大学 名誉教授) ○パネリスト:事例発表者3名、川口育子氏(日本インクルーシブクリエイターズ連盟 クリエイティブディレクター)
合計140分		

共催:公益財団法人 関西交通経済研究センター/公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

後援:国土交通省 近畿運輸局

お問合せ先:公益財団法人 関西交通経済研究センター

住所:〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1-7-2

電話:06-6543-6291 FAX:06-6543-6295 Eメール:a.kankou@kankouken.org

「第13回バリアフリー推進勉強会in関西」 講演者紹介

■コーディネーター

○柳原 崇男氏（近畿大学 工学部 准教授）



近畿大学工学部准教授。専門は交通計画。公共空間のバリアフリー・ユニバーサルデザイン、地域交通サービス構築、高齢者の健康と移動環境に関する研究に取り組んでいる。

日本福祉のまちづくり学会において理事を務め、まちづくりにおいて関西を中心に各地自治体の委員を多数務める。

■事例発表者(パネリスト)

○小西 祐一氏(リンクス株式会社 代表取締役会長)



リンクス株式会社…先端技術(ロボティクス、クラウド、AI など)を活用して、デジタルトランスフォーメーションの実現、高度生産性社会を目指している。

「ShikAI」…駅構内の点字ブロックに QR コードを設置し、iPhone のカメラで読み取ることで、現在地から目的地までの駅構内の移動ルートを導き出し、音声で目的地まで案内するシステム。

東京メトロ線内で既に運用が行われており、ホームドアが整備されて視覚障害者の方の利用が多い副都心線西早稲田駅など計 5 駅のほか、合計 9 駅で運用されている。

○北山 ともこ氏(NPO 法人 アイ・コラボレーション神戸 理事)



NPO 法人アイ・コラボレーション神戸…障害者に対して、社会参画促進や生活支援に関する事業を行い、一人でも多くの障害者が社会参加できる機会及び可能性の創出に寄与することを目的とする法人。WEB 制作のほか、高齢者および障害者を主な対象者として、アクセシブルなインターネット環境設計の構築、ソフトウェア開発、DTP、マルチメディアコンテンツ、障害者の態様に応じた IT 訓練)を行う。

「NaviLens」…情報を埋め込んだ黒、青、黄、ピンクのタグを専用アプリで読み取ると、タグからの距離や方向、埋め込まれた情報を音声で知らせるシステム。スペインの民間企業と大学が開発したアプリでバルセロナ市内には既に設置が進む。日本での普及をアイ・コラボレーション神戸が計画しており、日本初の実証実験を神戸アイセンター病院で開始。交通機関としては神戸市のポートライナーで今年9月より運用予定。

○松井 くにお氏(金沢工業大学 工学部情報工学科 教授)



松井くにお氏・・・静岡大学工学部情報工学科卒業後、(株)富士通研究所入社。東京工業大学大学院情報理工学研究科後期課程修了。富士通(中国)研究開発中心の兼務、Fujitsu Laboratories of America, Inc.の海外勤務を経て、ニフティ(株)にてサービスビジネス開発を推進。2017年2月より金沢工業大学教授。専門は、自然言語処理、情報検索、情報分析等の人工知能に関する研究開発。

「コード化点字ブロックによる音声情報案内」・・・歩道にある点字ブロックのように既存のインフラを利用し、視覚障害者のみならず、外国人や観光客に対する案内情報の提供を可能にするシステム。音声情報案内アプリとして、「Walk & Mobile -コード化点字ブロック認識アプリ」を2021年1月にリリース、スマートフォンのカメラでコード化点字ブロックを読み取ることで観光情報など地域情報を音声で案内出来る。運用については、金沢市役所、金沢21世紀美術館周辺歩道での実証実験のほか、体験イベントを有楽町マルイ等でも実施。

■パネリスト

○川口 育子氏(日本インクルーシブクリエイターズ連盟 インクルーシブディレクター)



日本インクルーシブクリエイターズ連盟(通称 NICA ナイカ)・・・令和元年設立。視覚障害者をはじめ、様々な障害を持つ人たちが生き生きと社会に混ざり、共に喜び、共に働ける社会を作る提案を行い、「障がい者がひとりで何処にでも出かけられる社会」を実現させるために様々な発信を行っている。

金沢工業大学松井教授の「コード化点字ブロックによる音声情報案内」では初の実証実験から当事者として協力。「shikAI」、「NaviLens」のパーソナルタグの視覚ナビゲーションシステムも体験。今回、視覚障害当事者として参加。

■コメンテーター

○三星 昭宏氏(近畿大学 名誉教授)



近畿大学名誉教授。専門はバリアフリー、ユニバーサルデザイン、地域交通、公共交通などに関する政策課題、技術課題など。

1980年頃から関西を中心に福祉のまちづくりに尽力。

各地の自治体のバリアフリー基本構想策定にも多数関与。バリアフリーについては政府・自治体の委員を多数務める。元日本福祉のまちづくり学会会長。

以上